

安心・快適で活力ある刈谷のまちづくり

# 鈴木浩二

## 市政レポート

2012.4 3号

連絡先: 〒448-8661 刈谷市昭和町1-1

TEL:(0566)-25-9950 FAX:(0566)-23-8688

発行: 鈴木浩二後援会

### ～ ご挨拶 ～

春たけなわの今日この頃、可能性を胸に秘め、多くの生徒、児童、園児がご卒業され、心新たに期待に満ちた生活をスタートする姿を見て、勇気をいただいています。

皆様方におかれましても、新しい年度を力いっぱい踏み出されますよう、ご祈念申し上げます。

さて、今回の3月議会では、平成24年度の主要施策を織り込んだ予算編成が組まれました。欧州の政府債務危機に端を発する不透明な世界経済の先行きや、円高・震災による経済の低迷により、今年度を下回る財源の中でも、必要なものにはしっかりと手を打つため、的確な取捨選択の判断が必要です。

これからも皆さんの要望にお応えできるよう、「改革・改善」に積極的に取り組んでいきたいと思えます。引き続きの皆様の温かいご支援、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



刈谷市議会議員 鈴木 浩二

### 福祉経済委員会での私の質問・要望

#### AED設置拡充に向けて

AEDは、心肺停止した心臓を電気ショックで正常に戻す装置で、1年間に全国で心肺停止に陥る11万2千人の内、全ての方に、AEDを活用し短時間で適正に処置すれば、半数以上の方が救命されると言われています。デンソーでも全拠点に75台設置されており、AEDを使用することで救命することができた事例があります。こうしたことから、AEDがいつでも使えるよう設置拡充（民間コンビニ等への設置やレンタル、AEDマップ作成・掲示）に向けて質問・要望しました。



#### [質問]

Q1: 刈谷市のAEDの設置状況並びに使用状況と救命件数、24時間使える場所は?

Q2: 救命曲線では、心肺停止後7分で致命。刈谷市の救急車の平均・最大到着時間は?

Q3: 今後のAED設置目標と計画内容は?

Q4: 駅や人が特に集まる場所への設置、また、交番やパトカーへの設置やコンビニやファミレス等の民間との連携、設置に向けた補助に対する市の考えは?

AEDマップのホームページ掲載予定は?

Q5: イベント(スポーツ大会、行事等)開催時、AEDレンタル制度を導入している市もあるが、刈谷市の考えは?

#### [回答]

A1: 公共施設88カ所、計97台設置。平成23年の1年間で心肺停止で106件搬送。AED使用は12件で救命できたのは1件。24時間使える場所はない。

A2: 平均到着時間は7.2分、最大25分(平成23年実績)

A3: 平成24年度は、市民交流センター、障がい者支援センターに2カ所設置予定。今後年数が経過したAEDの更新年次計画を検討している。

A4: 駅、交番については、それぞれの管理主体の考えによる。民間との連携および補助については、民間からも難しいと聞いており、今後も研究していく。ホームページへはAEDマップではなく、設置一覧表の掲示を検討していく。

A5: 本市では、イベントを行うような市施設へは設置済みだが、貸し出しについては今後も検討していく。

# 定例議会 3月議会

平成23年度3月議会が、2月16日から3月22日迄の36日間で開催され、報告案件1件、単行議案3件、条例議案10件、予算議案14件、合計28件と請願1件でした。今回の3月議会は、平成24年度の一般会計予算議案を含むことから、議会冒頭に竹中市長からの施政方針、太田教育長からの教育方針の説明と方針に沿った予算案の説明がありました。平成24年度予算は、竹中市長の昨年7月の選挙で掲げたマニフェストでの約束「生活の安心を育てる」「生活の安全を守る」「明日への希望を紡む」に沿った施策に対する予算となっています。



## 3月議会の内容抜粋

### 議案 刈谷市国民健康保険条例の一部改定について

国民健康保険の保険料が約5%程度増えます。（詳細は以下の表を参照ください）

長期化する景気低迷や高齢化等による医療費の増加により、慢性的な財源不足が続く見込み（平成25年度末には累積赤字が49億円に達する上、今後5年間で28億円を一般会計から補填要）で、掛け金と必要な医療費の均衡を図ろうとすると、11%の税率UPが必要です。しかし、国保加入の大部分を占める中低所得者層に対し、全ての負担を求めるのは問題であり、国保加入者以外も負担している一般会計からの繰り入れも残しつつ、今回5%の税率UPをするものです。

	平成23年度税率			→	平成24年度税率		
	医療分	後期高齢者支援金分	介護分		医療分	後期高齢者支援金分	介護分
所得割	4.80%	1.50%	1.70%		5.30%	1.70%	1.80%
均等割	26,000円	4,000円	10800円		26,000円	4,000円	10800円
平等割	20,000円	4,000円	3600円		20,000円	4,000円	3600円
賦課限度額	50万円	13万円	10万円		51万円	14万円	12万円

※介護保険分は、40～64歳の方が負担しています。  
世帯の年間税額は所得割額 + 均等割額 + 平等割額の合計です。

【所得×税率】： 所得割額（加入者の所得に応じて計算）  
 【均等割額×人数】： 均等割額（加入者数に応じて計算）  
 【平等割額×1】： 平等割額（1世帯単位で計算）

賦課限度額を上げ、中低所得者へは配慮

### 議案 刈谷市介護保険条例の一部改正について

第1号被保険者の介護保険料が約20%増えます。（詳細は以下の表を参照ください）

第1号被保険者とは、65歳以上の方です。3年毎に介護保険給付に対し改定するもので、各市町での特別な保険への補助はできません。刈谷市の要介護者人数は、平成23年10月1日現在は3,519人と介護保険導入直後の11年で2.6倍です。今後更に高齢化が進み、高齢者を支える形態は騎馬戦型（1対3）から肩車型（1対1）へと変化します。介護保険制度のあり方、就業者層でどのように支えていくのか抜本対策が必要な時期にきています。市では、介護予防は重要課題として、刈谷市介護保険事業計画を策定し取り組んでいます。

改訂前			改訂後		
段階	段階の範囲	保険料	段階	段階の範囲	保険料
第1段階	生活保護・老齢福祉年金の受給者(市民税非課税世帯)	4,440	第1段階	改定前と同じ	5,320
第2段階	世帯全体が市民税非課税（課税年金収入額+合計所得金額が80万以下）	15,540	第2段階	改定前と同じ	18,640
第3段階	世帯全員が市民税非課税	28,860	第3段階	改定前と同じ	34,632
第4段階	本人が市民税非課税（課税年金収入額+合計所得が80万円以下）	37,740	第4段階	改定前と同じ	45,280
第5段階	本人が市民非課税（第4段階以下）	44,400	第5段階	改定前と同じ	53,280
第6段階	課税年金収入額+合計所得が125万円未満	51,060	第6段階	改定前と同じ	61,272
第7段階	課税年金収入額+合計所得が125万円以上200万未満	55,500	第7段階	改定前と同じ	66,600
第8段階	課税年金収入額+合計所得が200万円以上500万未満	66,600	第8段階	200万円以上350万未満	79,920
			第9段階	350万円以上500万未満	82,584
第9段階	課税年金収入額+合計所得が500万円以上	77,700	第10段階	500万円以上700万未満	95,904
			第11段階	700万以上	98,568

# 平成24年度予算と主要施策

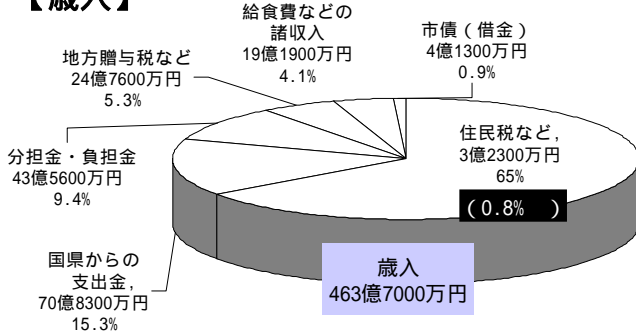
## ●平成24年度予算総額

会計名	本年度	前年度比	伸び率
一般会計	463億7000万円	▲16億4000万円	▲3.4%
特別会計	237億2100万円	13億2800万円	5.9%
企業会計	35億7900万円	▲5億7300万円	▲3.6%
予算総額	736億6900万円	▲8億8500万円	▲1.2%

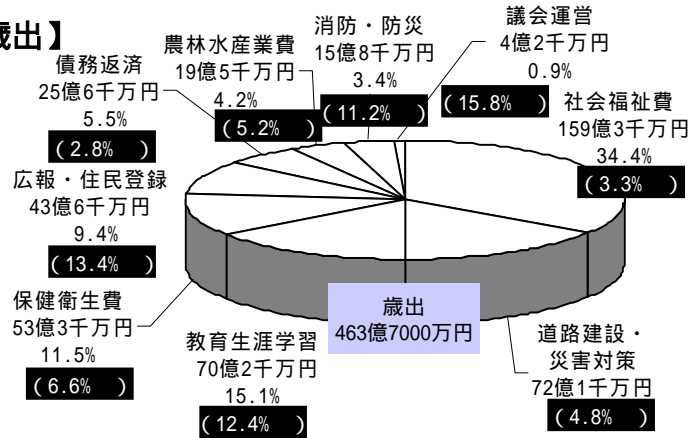
平成24年度予算は、予算総額8億8,500万円の減額。特に福祉や教育、消防など市民に幅広く行われる事業に使われる一般会計では、16億4,000万円の減額見込みであり、厳しい財政状況の中でも、健全財政を維持し、防災や災害対策、福祉面を重視しています。

## ●平成24年度一般会計の内訳 (■は前年度比)

### 【歳入】



### 【歳出】

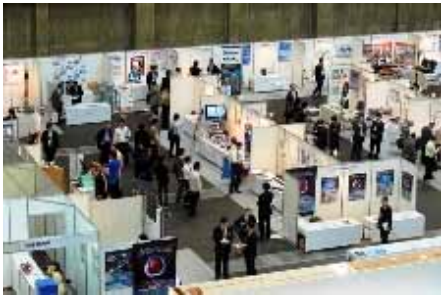


今後、民生費（介護・福祉・保育・教育・医療）等の大幅な増加が予測される中、税金の使われ方が市民の方に納得していただけるものかどうか、必要な事業がしっかりと進んでいるかどうか、引き続きしっかりチェックしていきます。

### 見本市出展支援事業

新規事業費：420万円

内容  
市が見本市等のブースを借り上げ、刈谷のPRおよび市内事業者の出展の機会を創出する。



元気がある企業の飛躍の機会になればと思います。

### 中小企業対策関連事業

事業費：2億823万円（総事業）

- 1) 雇用安定化対策 4,800万円
- 2) 中小企業開発マネジメント事業 623万円
- 3) 新産業技術開発支援補助事業 600万円
- 4) 中小企業防災対策支援事業 400万円
- 5) 信用保証料補助事業 1億2,700万円
- 6) 災害対策利子補給事業 1,700万円

上記は昨年からの継続事業です。

### 低公害車補助事業

	補助額(台)	予算台数
EV・PHV	15万円	100台
天然ガス・HV	5万円	1800台

他市は廃止する所が多い中、HVは減額になりますがEV・PHVを増額し継続します。

### 大手公園等整備事業

新規事業費：7,400万円

内容  
市の中心部の緑の創出を図るとともに、災害時の様々な復旧支援活動が行える広場をセントラルパークとして旧市民会館跡地に整備する。

仮設トイレを設置できる施設整備  
仮設テントを設置できるフリーなスペース  
耐震貯水槽の整備 等



整備工事（敷地造成、給水設備、防災施設）



# 平成24年度予算と主要施策（続き）

## 認可外保育園入園補助

事業費：2,978万円

### 内容

認可保育園に入所できなかった3歳未満の児童が、市内の対象認可外保育園に入所した場合、保護者の所得に応じ、月額3万6千円以内の額で補助を行う。

\*「18歳未満の児童で上から数えて3番目以降」の場合は、この表にかかわらず、補助金上限36,000円。

階層別区分		補助金上限額（月額）
区分	定義	
A	生活保護法による被保護世帯及び中国残留邦人等の円滑な帰国促進および永住帰国後の自立支援に関する法律による支援給付受給得世帯	35000円
B	所得税非課税世帯	市町村民税非課税世帯
C	所得税非課税世帯	市町村民税課税世帯
D1	所得税課税世帯	10000円未満
D2		10000円以上19000円未満
D3		19000円以上50000円未満
D4		50000円以上75000円未満
D5		75000円以上
D1-D5		28000円
D1-D5		21000円
D3		16000円
D4		9000円
D5		0円

詳細は市ホームページをご覧ください

## 病診連携

事業費：5,025万円

### 内容（地域医療連携ネットワーク構築）

刈谷豊田総合病院と衣浦定住自立圏域（刈谷・知立高浜・東浦）の各診療等をオンライン化することにより、紹介時の診療予約、検査予約の効率化や診療情報の共有化等ができるよう、地域医療連携ネットワークを構築する。



## その他の活動 ～くらしの相談より～

### 半城土大原生活道路対策



半城土町大原 - 安城市の市境の生活道路で、朝夕の通勤時に抜け道として使用する人が多く、頻繁に事故が発生していることから要望があり、止まれの表示とカラー舗装を実施。地域からの要望書も合わせて出され、実現しました。出会い頭の事故が減ることを期待します。

### 東刈谷南交差点道路対策



東刈谷寮・野田寮から東刈谷駅に向かう交差点で雨が降ると、横断歩道が水溜り状態になり危険との要望があり、道路補修。

### ひまわりバス停照明設置



バス停



駐輪場

6路線が集結する乗り換え拠点のバス停。駐輪場が暗いため照明を設置。

## くらしの相談



地域での困りごと、市政に対するご意見・ご要望等がありましたらお気軽に「鈴木浩二 くらしの相談室」をご利用ください。

TEL: 0566-25-9950 FAX: 0566-23-8688

ホームページ開設しました。お時間がありましたら是非ご覧ください。

鈴木浩二

検索

ホームページからも受け付けしています。